



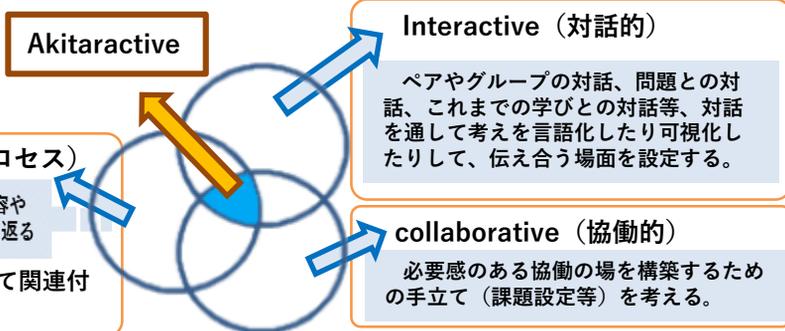
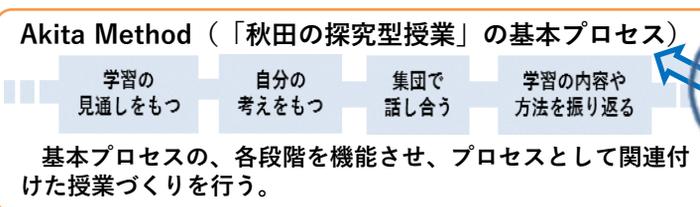
授業改善のポイントの紹介 ～『アキタラクティブ アイ』よ～

©岡山県「ももっち」

秋田県総合教育センターでは、**子どもたちがより主体的に学ぶためのポイント**や**子どもたちの資質・能力の育成を目指すカリキュラム・マネジメントを推進する際の視点**をまとめた、冊子『アキタラクティブ アイ』を2019年7月に作成しています。今号では、その中から授業改善についての概要を紹介します。

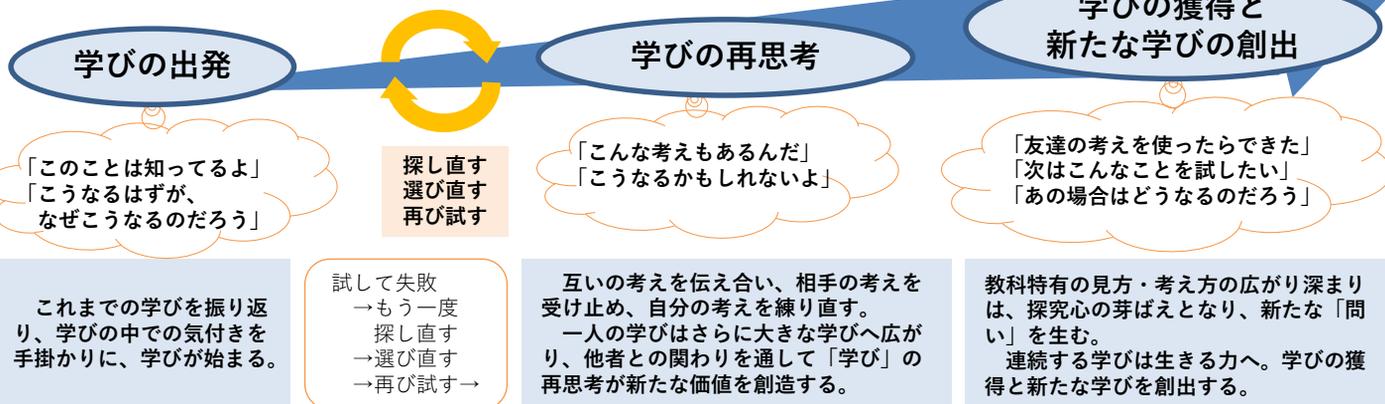
アキタラクティブとは

秋田の探究型授業+授業の「理念」の理解



秋田の探究型授業のよいところを継承し、自ら発展させていくために、型の理解と習得だけでなく、理念を理解し、型から抜け出すといったいくつかの段階が必要です。(冊子『アキタラクティブ アイ』から引用)

学びをつなげるイメージ 子どもの思考が深まるイメージ



チェックシート 授業づくりや授業を振り返る

- 学びの出発**
- これまでの学び**を振り返り、見通しをもっているか。
 - 問いを引き出す**ための課題設定があるか。
 - 気付き**を手掛かりに、問いの発見があるか。
- 学びの再思考**
- 対話や議論**を通じて、自分の考えを広げ深めているか。
 - 解決過程を振り返って考え直したり、他者の考えを生かして探し直したりするといった**試行錯誤**を体験しているか。
 - 考えを分かりやすく相手に伝えたり、仲間と**よりよく解決**しようとしているか。
 - 集団としての考えを発展**させたり、より**多くの人と協働**したりして解決しようとしたか。
- 学びの獲得と新たな学びの創出**
- 驚きや感動、新たな問いへの**意欲の高まり**があるか。
 - 全体の学びを振り返ることで、自らの**成長を実感**しているか。
 - 学んだことを**日常生活や社会生活に生かそう**としているか。



『アキタラクティブ アイ』は、秋田県総合教育センターのHPからダウンロードできるようになっています。初任者研修等の若手教員の研修でも紹介されています。

萩原指導教諭のつぶやき

教師主導で授業の型をなぞれば、スムーズに流れる授業になるかもしれませんが、生徒が主体的に学びながら、資質・能力を身に付ける授業にはなりません。「主体的に学ぶ態度」を育てるために、左のチェックシートを参考にして、単元の中に子どもたちが主体的に学ぶ時間や場面を適切に設定し、教師が一人一人の子どもの学びに寄り添うことが、大切だと感じました。

